

文化・芸術振興

アナ： 「市長が語る2019三島」第21回の今日は、「文化・芸術振興について」お話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： はじめに、市民文化会館が休館し、大規模改修工事が間もなく始まるそうですが、そのことについて教えていただけますか。

市長： はい、市民文化会館は平成3年に開館してから28年が経過し、大・小ホールの舞台音響設備、照明設備などが経年劣化により、故障のリスクが非常に高まってきていることから、今年の10月から来年の9月末日まで、1年間休館させていただきます、大規模改修を行います。

アナ： そうなのですか。文化会館は開館してから28年も経過していたのですね。それで1年間休館して大規模改修工事が必要なのですね。それでは、具体的にどのような工事を行うのか教えていただけますか。

市長： はい、まず老朽化した大・小ホールの舞台音響設備や舞台照明設備等を最新の設備に更新いたします。また大ホールの女子トイレですが、現在は段差があり、和式便座が多かったのですが、段差をなくすとともに洋式トイレを増やす改修を実施します。その他、屋外広場の改修や、会議室等の劣化改修を併せて行って参ります。詳細につきましては、広報みしま、市ホームページ、市民文化会館ホームページ等でお知らせいたします。市民の皆様、利用者の皆様には1年間休館いたしますので、ご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

アナ： なるほど、1年間休館して大改修するということですね。来年のリニューアルオープンが今から楽しみです。

次に、文化芸術振興のソフト事業の取組みはどのようなものがあるのでしょうか。

市長： 来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されるわけですが、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を三島市文化振興基本計画に基づく「文化によるまちづくり、人づくり」を推進する好機と捉え、地域の文化振興、創造産業の活性化を図り、2020年以降のレガシー創出につなげるため、各種文化事業を展開しているところでございます。

具体的に申し上げますと、市内在住の絵本作家 宮西達也先生に、市内小学校14校全てで絵本の読み聞かせのワークショップを実施していただくほか、幼稚園・保育園に、「静岡県舞台芸術センター、通称：スパック」の俳優が出向く、「スパックおはなし劇場」などを実施してまいります。子どもたちに質の高い文化・芸術を体験する機会を提供し、文化についても2020年以降のレガシー創出につなげていきたいと考えており

ます。

アナ： オリンピックはスポーツだけでなく、文化の祭典でもあるのですね。2020年に向けて楽しみですね。

市長： その他、美術展、合唱祭、芸術祭、演劇祭、文芸三島の発行を引き続き実施するとともに、佐野美術館では、今年は「金魚絵師 深堀隆介（ふかほり りゅうすけ）展」「ヒグチ ユウコ展 サーカス」「名刀展・名刀への道」などを佐野美術館と三島市による共催で実施して参ります。

また、市民登録参加型の文化フェスティバル「みしまの文化百花繚乱」を今年度も実施します。「文化は敷居が高い」などと思わずに、気軽にお出かけいただきたいと思います。「三島の宝」である文化的な場所や取り組みに「参加する」という市民の皆さん一人ひとりの活動が、三島の文化度を高める原動力になるのではないかと考えています。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。